



桃五だより



No.577

(7月号)

杉並区立桃井第五小学校

<http://www.suginami-school.ed.jp/momo5shou/>

2019.7.1

体育館での出来事

副校長 日向 須真子

6月10日月曜日。体育館で全校朝会を行いました。あいにくの雨でした。でも、雨でなくても、体育館で行う予定でした。それは、区内で最初にエアコンが設置され、初めて使用する日だったからです。全部で8台のエアコンが、ギャラリーの下に設置されました。1時間前から稼働して体育館を冷やしていたのですが、雨だったのであまり涼しさは実感できませんでした。でも、これから迎える夏の暑さを考えると、少しでも快適に利用できるようになったことは大変うれしく思います。子供たちも、地域の皆様も、正しく活用して快適に過ごしていただけたらと思っております。

6月は読書週間がありました。6月3日の児童朝会では図書委員が、全校児童に向けて本の紹介をしました。ステージ上から680人の児童に「これから図書委員の発表をします。マイクを使わないで発表しますので、皆さん、静かに聞いてください。」とあいさつをして始まりました。体育館にいた子供たちの背筋がずっと伸びたのがわかりました。少しも聞き漏らすまいと、みんなが舞台の上にいる図書委員の話に耳を傾けました。

クイズ形式で本の紹介が進んでいきました。クイズは低学年「あめふり」「あかいかさがおちていた」、中学年「カタツムリ」「かえるの王さま」、高学年用「花のおう町」「チューリップ」の本の紹介です。「1番だと思ふ人は手を挙げてください。・・・」「2番だと思ふ人は・・・」図書委員さんは680名の行動に合わせて「間」を調整して進めています。クイズに答える子供たちも余計な話はしません。「正解は、・・・3番です！」

「えー」「やったー」「きゃー」など様々な声が上がりますが、すぐに静かになり、次のクイズに向けて、自然に聞く姿勢ができていました。

「すごいなあ」と思いました。普段の授業でいわれている「聞く姿勢」がこういう場で発揮されるのだと思いました。見事な15分間でした。マイク無しで発表した図書委員のみんな。それをしっかりと聞いた680人の桃五の子供たち。素晴らしかったです。

6月15日の土曜公開は、あいにくの雨でしたが、たくさんの方の保護者の方に参観していただきました。のべ1,000人の保護者の方に来ていただきました。

3時間目の道徳授業地区公開講座の講演会は、およそ200名の保護者の方が聴いてくださいました。

講演の内容は、子供は感受性が強く嫌なことを大きく感じる。完璧を求められると心が固くなって動けなくなる。心は見えず、見えるのは言葉と行動。子供の特性をよく観察して、その子が投げた言葉と同じ意味の言葉を返す。黄色のボールを投げたら、黄色のボールを投げ返す。違う色のボールを投げたりしない。落とされたボールが多いと残念感が強まる。子供が言葉のキャッチボールを投げってくれるうちに会話の楽しさを覚えさせて、会話をあきらめさせないようにすることが大切。心のへこみは話を聞くことで修復できる。というものでした。

今月で一学期も終わります。子供の言葉に耳をしっかりと傾けて、夏休みまでのあと少しを充実した時間にするよう過ごさせたいと思います。

7月の生活指導目標
気持ちのよい
あいさつをしよう

- 自分からすすんであいさつしよう
- 昨日よりもよいあいさつをしよう
- 元気な声であいさつをしよう
- 「ありがとう」を増やそう

「おはようございます!」「よろしくお祈いします!」「いただきます!」「さようなら!」・・・

1学期もあと少しで終わろうとしています。桃五小では、様々な場面で元気なあいさつが聞こえます。自分からすすんで、元気な声であいさつをすると、気持ちがいいですね。

「あいさつ」は人の心と心をつなぐあたたかい言葉であり、人から人へ思いを伝えあう大切なものです。

「あかるく ①いつでも ②きにたって ③づけよう」

を合言葉に桃五小では年間を通してあいさつの推進に取り組んでいきます。そして、元気なあいさつ、気持ちのよいあいさつでいっぱい桃五小にしていきたいと思ひます。ご家庭でもご協力ください。